

合志市
koshi city

KOSHI NEWS

令和7年 冬号

合志市ふるさと大使
委 嘱 状

プロゴルファー
竹田 麗央 様

合志市ふるさと大使を委嘱します

令和6年12月24日

合志市長 荒木 義行





市民や協力団体が参加 菊池恵楓園清掃ボランティア

11月23日、菊池恵楓園で清掃ボランティア活動を行いました。合志市の呼びかけで、平成27年度から行なっています。

当日は、包括協定団体の大学生、市ボランティア連絡協議会、市社会福祉協議会、市職員など168人が参加し、園内の通路や植え込みの落ち葉を拾い集め、汗を流しました。



認知症への理解と地域のつながり実感 ささえ愛ネットワーク模擬訓練

11月30日、合志市と市社会福祉協議会は、合志南小校区で、認知症により行方不明者が発生したことを想定した模擬訓練を実施しました。

訓練では、参加者が、ひとり歩きしている人への声のかけ方や通報の仕方を学んだほか、認知症高齢者等保護情報共有サービス『どこシル伝言板』の読み取りを体験しました。



こどもたちの門出を全力でサポート 合志市の新1年生が大集合！

12月7日、市総合センター『ヴィーブル』文化会館で、令和7年4月に小学校に入学する親子を対象としたイベント、『楽しさ100% 合志市の新1年生大集合！』が開催されました。

参加者は、合志吹奏楽団^{ひびき}『響』の演奏やクイズなどを楽しみました。また、客席では、友だちづくりのための交流会も行なわれました。



“高専ロボコン”で快挙！ 熊本高専熊本キャンパスが準優勝

『全国高等専門学校ロボットコンテスト（高専ロボコン）』で準優勝した、合志市にある熊本高専熊本キャンパスのチームが、1月10日、市役所を表敬訪問しました。

メンバーは、11月に東京都で行なわれたコンテストで使った、着地やサンプル回収など月面探査をイメージした競技用のロボットを披露しました。高い技術力を証明した皆さん。おめでとうございます！



新日本ステンレス工業が合志市内の事業所に 工場増設で立地協定

1月14日、合志市は、金属製品製造業の新日本ステンレス工業株式会社（本社：熊本市）と立地協定を締結しました。

同社は合志市内の事業所に工場を増設し、半導体製造装置の部品の生産などを行ないます。調印式で荒木市長は、「地域への経済効果を期待しています」と述べました。



9者で連携し、事業承継を促進 事業承継・創業連携支援協定調印

1月28日、合志市と市商工会、県商工会連合会、金融機関の9者は、事業承継・創業連携協定の調印式を行ないました。

この協定は、廃業による経済的・社会的な損失を防ぐため、市内の事業所の事業継承を促すことを目的としています。9者は、新規創業者とのマッチングにもあわせて取り組み、承継による事業拡大を目指します。



西合志南小学校
(合志市須屋1873)



国道387号に面していた旧校舎（昭和50年代前半）



100周年頃（昭和48年）



旧校舎時代

150th Anniversary
＝ 地域と共に 歴史を紡いで ＝

西合志南小学校創立150周年



11月16日、西合志南小学校で創立150周年の記念式典が開催されました。当日は、児童代表が、「多くの人たちが繋いできた学校への思いを受け取り、未来へ繋ぎます」と挨拶しました。また、式典の司会はタレント・加納麻衣さん、記念講演は剣道・渡邊タイ選手と、いずれも卒業生が務めました。



①



②



③



④



⑤

① 体育館で行なわれた記念式典の様子 ② 司会を務めたタレント・加納麻衣さん ③ 児童代表が挨拶 ④ 記念講演で剣道と共に歩んだ人生について話す渡邊タイ選手 ⑤ 講演のお礼を述べた児童と記念撮影した渡邊選手

西南小祭り

式典終了後の午後、PTA主催で開催された『西南小祭り』。校内にキッチンカーや出店が集まり、児童や保護者、地域住民で賑わいました。





旧校舎の落成（昭和36年4月5日）



100周年記念式典
（昭和49年11月24日）



旧校舎時代



合志小学校
（合志市上庄55）

150th Anniversary
— 地域と共に 歴史を紡いで —

合志小学校創立150周年



1月19日、合志小学校で創立150周年の記念式典が開催されました。当日は、校区内で伝わる『高千穂神楽』や、『竹迫観音祭』のお囃子が披露され、式典に花を添えました。また、卒業生で、株式会社ヨネザワ代表取締役会長・米澤房朝さんが、『夢は必ず実現する』と題して記念講演しました。



- ①体育館で行なわれた記念式典の様子
- ②『高千穂神楽』の披露
- ③保存会のメンバーとこどもたちが『竹迫観音祭』のお囃子を披露
- ④記念講演で児童や出席者に語りかけた、株式会社ヨネザワ代表取締役会長・米澤房朝さん



菊池恵楓園絵画クラブ『金陽会』 4回目の作品展を開催

12月7日、8日、市教育委員会などは、合志楓の森小・中学校で、菊池恵楓園の絵画クラブ『金陽会』の作品展『知らないを観に行こう。』を開催しました。

命の輝きや温かさを感じる“光の絵画”と称される作品は、その数900点余りあります。今回は、人物や花を題材とした22点を展示しました。なお、『金陽会』は、10月9日、（公財）西日本新聞文化財団の『第83回西日本文化賞』を受賞しました。



プロゴルファー 竹田麗央選手に 『合志市ふるさと大使』を委嘱

たけだりお
本市出身や、ゆかりの人に、自身の活動を通じて本市をPRしてもらう『合志市ふるさと大使』。12月24日、本市出身のプロゴルファー・竹田麗央選手に委嘱しました（写真①）。



竹田選手は、南ヶ丘小学校、合志中学校の出身で、高校生だった令和3年、プロテストに合格しました。令和6年、熊本で行なわれた大会でのツアー初優勝をはじめ国内8勝をあげ、JLPGA年間女王など数々の賞に輝きました。令和7年、アメリカツアーに参戦する竹田選手に合志市の名を世界に広めてもらおうと大使の委嘱を依頼し、快諾いただきました。



市役所で行なった委嘱状交付式では、令和6年の活躍をお祝いし、竹田選手の同級生と母校の児童・生徒代表が、花束や記念品を贈りました（写真②）。その後、荒木市長から『合志市ふるさと大使』の委嘱状を手渡しました。



また、竹田選手から「スポーツの振興に役立ててください」と寄附の申し出があり、荒木市長に目録が渡されました（写真③）。市長は、「こどもたちの夢の実現のため、大切にに使わせてもらいます」とお礼を述べました。竹田選手、誠にありがとうございました。これからも合志市から応援しています。

竹田選手に関する話題！



12月、竹田選手がモデルとなった熊本県警の“飲酒運転根絶”を呼びかけるポスターが登場。合志市内の飲食店などに張られました。



竹田選手を応援する看板を設置しました。場所は合志市役所近くの交差点です。来庁の際にはぜひご覧ください。



竹田選手メッセージ

「合志市には友だちも多く、楽しい思い出ばかりです。このまちに生まれて良かったなと思っています。自分がさらに活躍すれば、「合志市出身」という言葉も出てくると思います。日本でプレーする機会が少なくなりますが、皆さんに良い報告ができるよう頑張ります」



@RIO_TKD402

◀ 竹田選手の最新情報はこちら
(竹田選手インスタグラム)



“コロナ禍”を乗り越え迎えた人生の節目 令和七年 二十歳を祝う会

1月12日、市総合体育館メインアリーナで、『令和七年 合志市二十歳を祝う会』を開催しました。今年は、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた781人が二十歳を迎えます。

式典は、二十歳を迎える人たちの代表による実行委員会が企画・運営しました。二十歳を代表して島田優花さんが、「これまでの20年間を一番近くで支えてくれた家族、指導してくれた先生、温かく見守ってくれた地域の皆さん、式典開催に尽力してくれた皆さん、本当にありがとうございました。今日という日を迎えるまで20年間支えてくれた皆さんに心より感謝し、これから、社会人として責任を伴った行動と選択を心がけ、向上心を忘れず、日々精進します」と、誓いの言葉を述べました。

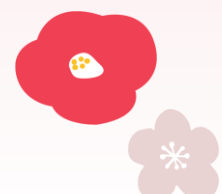


第2部では、合志市ゆかりの人たちによるお祝いメッセージ動画が放映された後、中学時代の恩師たちが登壇し、お祝いのメッセージを贈りました。その後、『VS合志 〜もう密になってもいいんです〜』と題したクイズ大会で盛り上がりました。



また、合志市内への就職を促すことを目的に、会場内に市内の企業や店舗を紹介するコーナーが設けられたほか、地域に貢献したいと思う人が増えるよう、合志市消防団による加入の呼びかけが行なわれました。

会場の内外は、色とりどりの晴れ着やスーツ姿の参加者で華やかな雰囲気になりました。同級生や恩師との再会を喜び、会話を弾ませたり、写真を撮ったりする様子が見られました。





『令和七年 合志市二十歳を祝う会』の
実行委員の皆さん。ふるさと・合志市
への思いをこめ、趣向を凝らした祝う
会を企画・運営しました。



合志市
ホームページ



合志市公式X
(旧Twitter)